

令和5年度 大阪市立港中学校協議会 実施計画書

校 園 名 大阪市立港中学校

校 園 長 名 北川 延尚

1 委 員 (本年度の委員予定者を含む)

役 割	名 前	属 性 (所属団体役職 等)
委員長	松尾フサ子	池島地域振興町会女性会会長
委員	西澤恵子	池島地域 保護司
委員	宮本隆司	元 PTA 会長
委員	平尾俊雅	現 PTA 会長
委員	森岡清美	元 PTA 会長
委員	石川忠秀	八幡屋地域 民生委員長
委員	安本範之	八幡屋地域 協助力 体育施設開放委員長
委員	尾崎哲生	池島地域 青少年指導委員会会長
委員	井原高志	八幡屋小学校 校長
委員	小山勝一	池島小学校 校長
委員	北川延尚	港中学校 校長
委員	山本尚子	港中学校 教頭

2 年間計画

	日 時	内 容
第1回 (今回)	4月～5月初旬	学校協議会の開催 「運営に関する計画」(案) 「校長経営戦略支援予算」(案)の協議
第2回	11月初旬	学校協議会の開催 「運営に関する計画」中間評価 (「全国学力学習状況調査」の結果の協議)
第3回	3月初旬	学校協議会の開催 「運営に関する計画」最終評価 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 の結果の協議

3 その他

学校協議会委員様

令和5年4月吉日

大阪市立港中学校学校協議会

委員長 松尾フサ子

学校協議会開催のご案内

陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動推進のために、格別のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、第1回学校協議会を下記のとおり、開催いたします。ご多用のこととは存じますが、何卒ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日時：令和5年4月27日（木） 18:00～
2. 場所：大阪市立港中学校 多目的室（本館校舎2階）
大阪市 港区 池島1-5-35 ☎6572-4461
3. 議題：（1）運営に関する計画について
（2）その他

当日、傍聴を希望される方は港中の教頭までお知らせください。

(TEL 06-6572-4461)

令和5年4月27日(木)
18時00分～ 於：多目的室

大阪市立港中学校

令和5年度 第1回 学校協議会

【構成メンバー】

学校協議会委員長	池島女性会会長	松尾 フサ子	
学校協議会委員	八幡屋民生委員長	石川 忠秀	
	保護司	西澤 恵子	
	少年補導協助手員・保護司	安本 範之	
	池島青少年指導員会長	尾崎 哲生	
	池島小学校校長	小山 勝一	
	八幡屋小学校校長	井原 高志	
	元PTA会長	宮本 隆司	
	元PTA役員	森岡 清美	
	現PTA会長	平尾 俊雅	

司会 教頭

委員長あいさつ

学校長あいさつ

自己紹介

議案

- (1) 運営に関する計画について
- (2) その他

今後の予定

大阪市立港中学校 学校協議会傍聴要領

(趣旨)

第1条 この要領は、大阪市立港中学校 学校協議会の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴の手続)

第2条 傍聴を認める定員は10名以内とする。ただし、会長が必要と認めた場合については、この限りでない。

2 会議を傍聴しようとする者は、会議の開催30分前から開催予定時刻までに、先着順に受付において申し込み、会長の許可を得た上で、事務局の指示を受けて会場に入場するものとする。

(傍聴者の守るべき事項)

第3条 傍聴者は、会場においては次の事項を守らなければならない。

- (1) はち巻き、たすき、ゼッケン、ヘルメットなどを着用しないこと
- (2) 危険物、ビラ、プラカード、旗などを持ち込まないこと
- (3) 飲食又は喫煙をしないこと
- (4) 携帯電話などは受信音を出さないこと
- (5) 写真撮影、録画及び録音等を行わないこと。ただし、会議の座長の許可を得た場合は、この限りでない。
- (6) 会議開催中は静かに傍聴することとし、発言、拍手その他の方法により公然と意見を表明しないこと
- (7) 前各号に定めるもののほか、会場の秩序を乱し又は会議の支障となるような行為をしないこと

(違反者に対する措置)

第4条 傍聴者が前条の規定に違反したときは、会長はこれを注意し、なおこれに従わないときは、その者を退場させることができる。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

令和5年度

「運営に関する計画」

大阪市立港中学校

平成5年4月

目 次

	頁
様式 1 (総括シート)	
1. 学校運営の中期目標	3
2. 中期目標の達成に向けた年度目標	4
3. 本年度の自己評価結果の総括	6
様式 2 (目標別シート)	
目標 1 安全・安心な教育の推進	
・生活指導	8
・人権・道徳教育	9
・進路指導	10
・特別支援教育	11
目標 2 未来を切り拓くための学力・体力の向上	
・学力の向上	12
・国語科	14
・社会科	15
・数学科	16
・理科	17
・音楽科	18
・美術科	19
・技術家庭科	20
・保健体育科	21
・英語科	22
・健康教育	24
目標 3 学びを支える教育環境の充実	
・ICT教育	26

1 学校運営の中期目標(令和7年度までの4年間)

現状と課題

- 学力の充実においては「自立した個人として生き抜くために必要な学力の定着」を目標とする。基礎学力の向上は本校の課題である。研究授業を取り入れた授業法改善の研修、ICTの活用を含む授業法改善を通じて基礎学力を向上させる必要がある。
- 体力の充実については「いかなる状況においても力強く生き抜くために必要な体力向上」を目指す。本校は全国的に見ても体力は高水準であり、保健体育の授業および部活動、学校行事などに積極的に参加している成果である。
- 徳力の充実については「人とのつながりを大切にする社会性の構築」・「規範意識の醸成」を重点に、「いじめのない(SNS含む)安心できる学校」を目指す。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 不登校生徒・愛着、発達障がいのある生徒への対応を丁寧に行い、すべての生徒にとって「学びと喜びと幸せ」を追求する学校づくりを推進する。
- 生徒アンケートにおいて「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「自分には、良いところがありますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を77%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 「自立した個人として生き抜くために必要な学力の定着」と「いかなる状況においても力強く生き抜くために必要な体力向上」を目指し、個に応じたきめ細かな指導・支援を行う学校づくりを推進する。
- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。
- CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を56%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1.01にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 1人1台端末の環境を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に取り組む学校づくりを推進する。
- 教職員の働き方改革に取り組み、職員が健全に指導・支援にあたる教育環境の実現を目指す学校づくりを推進する。
- 授業日において学習者用端末を毎日使用する割合を100%にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教員の時間外勤務の上限(月45時間)の基準を満たす教職員の割合を100%にする。
- 「ゆとりの日」を週1回設定・実施する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
※前年度不登校であった生徒のうち不登校の状態が改善された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握する。
※改善とは、次の状態にあたる。（複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択）
 1. 出席日数が増えた。（学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定を含む）
 2. ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
 3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

学校園の年度目標

- 生徒アンケートにおいて「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を94%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「自分には、良いところがありますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を65%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を30%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を56%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を男女とも40%以上にする。

学校園の年度目標

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を0.90以上にする。
- CEFR A1レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を25%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1.01にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- ICT の活用に関する目標を設定する。
- 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。

学校園の年度目標

- 授業日において学習者用端末を毎日使用する割合を 100%にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教員の時間外勤務の上限(月 45 時間)の基準を満たす教職員の割合を 50%にする。
- 「ゆとりの日」を月1回設定・実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

目標1 安全・安心な教育の推進

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・中学校) ○ 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 ※前年度不登校であった生徒のうち不登校の状態が改善された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握する。 ※改善とは、次の状態にあたる。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択) 1. 出席日数が増えた。(学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定を含む) 2. ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。 3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。	

年度目標	進捗状況
学校の年度目標 ○ 生徒アンケートにおいて「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 ○ 生徒アンケートにおいて「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を94%以上にする。 ○ 生徒アンケートにおいて「自分には、良いところがありますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を65%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【生活指導】

年度目標	達成状況
学校の年度目標 誠実な心を養うために生徒がルールとマナーを意識し、自らを磨く姿勢の育成。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】 ○情報モラル教室の推進 指標 情報モラル教室の実施	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】 ○いじめ・問題行動への対応 指標 アンケートにて「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答する生徒を95%以上、「ルールを守っている」と回答する生徒を91%以上とする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】 ○不登校生への対応 指標 昨年度の不登校生29名。本年度はそれを3割減少させる。関係諸機関や地域の諸団体との連携をさらに強化する。	
取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】 ○防災・減災教育の推進 指標 避難訓練の実施（1学期）、防災訓練の実施（1学期）	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【人権・道徳教育】

年度目標	達成状況
<p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">各学年で取り組んだ人権道徳の授業の共通理解を徹底し、実践記録として保存しどの学年でどのような人権道徳の授業を実践したのかを明確にしていく。道徳の教科化を定着させるために、授業の進め方、成績のつけ方などの教員研修を年2回開催する。学ぶことが楽しい学校、友達に会うことが楽しくなるよう工夫をする。「学校へ行くのは楽しいと思いますか」90%に近づける。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○あいさつの励行</p> <ul style="list-style-type: none">生徒会を中心に、校内外における積極的なあいさつを継続させる。 <p>指標</p> <p>生徒会、安全風紀委員による登校時あいさつの継続や啓発ポスター、週1回の全校集会、学年集会での指導を行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>○人権・道徳教材の活用</p> <ul style="list-style-type: none">道徳の授業を通して、道徳心・社会性の育成を図る。 <p>指標</p> <p>授業の感想文やアンケートを実施し、互いに意見を交流し合うような学習を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">職業体験、小中連携による地域の小学生との共通体験や地域の行事への参加の機会をつくる。 <p>指標</p> <p>職場体験学習(2年 2日間)や出前授業(2年、3年)、職業調べ(1年)などを実施する。地元に対する関心を高めさせることで、地域行事参加に対する意識の高揚を図る。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【進路指導】

年度目標	達成状況
学校の年度目標 ○ キャリア教育・進路指導の充実	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ○ キャリア教育の充実 第2学年において2日間にわたって職場体験学習を行う。 修学旅行、遠足などの校外学習を社会体験の場として活用する。	
指標 事前指導を4時間以上、事後指導を2時間以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ○ 個に応じた進路指導 一人一人の適性に応じた進路目標を持たせてそれを達成させる。	
指標 各学年とも、年間2回以上、生徒を対象とした進路学習を行う。 3年生の100%を志望校に合格させる。	
取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ○ 生徒や保護者への情報の伝達 説明会や講話を通じて、最新の情報を発信する。	
指標 年間4回以上、進路だよりを発行し、進路説明会を2回以上実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【特別支援教育】

年度目標	達成状況
学校の年度目標 社会的自立に必要な基本的な生活習慣、自立した個人として生き抜くために必要な学力を身につけさせる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ◆ 生徒の実態把握に努め、個に応じたきめ細やかな指導・サポートをする。 ◆ 授業への入り込み・抽出指導を通して、学習に対する意欲を高め、基礎学力の定着を図る。 ◆ 休み時間や放課後を活用し、個別支援を充実させる。	
指標 各クラス授業への入り込み指導の実施や学年・学級活動へ参加する。放課後学習できる部屋を開放する。個別の指導計画を活用しそれぞれの目標を明確にする。	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ◆ 共に学ぶ交流学习を通し、全校生徒・教職員のインクルーシブ教育を推進していく。	
指標 様々な授業や取り組みの中で、サポートを必要としている生徒たちへの理解を深めていく。	
取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ◆ 特別支援学級在籍生徒の全教職員間の共通理解を徹底していく。	
指標 学期に1回以上、全教員参加の特別支援委員会を開催し特別支援学級在籍生徒の実態把握、共通理解を徹底していく。特に毎月の学年会、職員会議等を活用して特別支援学級在籍生徒と通級生徒の実態把握、共通理解を更に深めていく。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

目標2 未来を切り拓くための学力・体力の向上

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を30%以上にする。 ○ 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。 ○ 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を56%以上にする。 ○ 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を男女とも40%以上にする。 	

【学力・体力の向上】

年度目標	達成状況
<p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を0.90以上にする。 ○ CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を50%以上にする。 ○ 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を80%以上にする。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業規律の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・授業始め・終わりのあいさつ、チャイムでの入室・着席の徹底を図る。 ・忘れ物調べを行い、授業の規律を確立する。 ・学習環境の整備を生徒自身が率先して行えるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年での入室指導、授業遅刻のチェック、各教科での忘れ物・宿題提出のチェック・連絡などを毎時間行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個に応じた指導 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業または教員の入り込みを設定し、生徒個々に応じた指導を行う。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援員のサポートを受け、放課後学習を行う。 ・ICT機器を更に充実させ、生徒達の興味を高め、取り組む意欲向上に繋げる 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生の数学・英語において、週 4 時間(2年数学は後期から週 3 時間)、少人数授業を実施し、基礎、基本の定着を図る。 ・1年数学・英語においては、教員の入り込みを設定し、生徒個々に応じた指導を行う。 ・国語においては全学年、週1時間以上、教員の入り込みを設定し、生徒個々に応じた指導を行う。 ・漢字検定を1年に 1 回実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業規律の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎運動能力の向上（毎時間のトレーニングや柔軟性の向上を目指す。） ・体育理論の理解と促進（体づくり運動の意義と行い方を実践で学ぶ。） ● 体育的行事の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会、球技大会、駅伝大会など、学校の体育的行事を実施し、運動することの楽しさを体験させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年での入室指導、授業遅刻のチェック、各教科での忘れ物・宿題提出のチェック・連絡などを毎時間行う。 	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【国語科】

年度目標	達成状況
学校の年度目標 表現力・理解力を向上させるための漢字・語彙の定着化と作文力の一層の強化に努める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○授業規律の確立 ・授業始め・授業終わりの挨拶の徹底をする。 ・挨拶時の服装はきちんと整えさせる。(第1ボタンを留めるなど) ・忘れ物調べを行い、授業の規律を確立する。	
指標 忘れ物調べを毎回実施する。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○個に応じた指導 ・各学年で少人数指導やチームティーチングを実施し、個に応じた指導を行う。	
指標 授業(3学年合計)の1/4以上でTTの授業を行う。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○言語力や論理的思考能力の育成 ・行事作文や作文・小論文指導を通して、生徒の言語力の育成を図る。 ・漢字テストを行い、漢字の定着を図る。3年は漢字検定4級以上取得を20%以上にする。 ・スピーチコンテストやプレゼンテーションなどの学習でアクティブラーニングを取り入れ、発表の場を作り、情報発信能力を養う。 ・情報の収集・整理、考えたことの表現・共有にICT機器を活用し、指導の効果を高める。	
指標 全学年、学期に1度以上作文指導を実施する。 漢字テストを單元ごとに実施する。	
取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○自主学習習慣の確立 ・一人一台端末を持ち帰らせ、課題に取り組ませて、学習習慣の確立を図る。	
指標 学期に1回以上、課題を提出する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【社会科】

年度目標	達成状況
学校の年度目標 基本的知識の定着を図り、ICTをさらに取り入れ、社会的事象に関する興味・関心を高め、自分の考えを表現できるようにする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ●授業規律の確立 ・授業始め・授業終わりの挨拶の徹底をする。 ・挨拶時の服装はきちんと整えさせる。(第1ボタンを留めるなど) ・忘れ物調べを行い、授業の規律を確立する。	
指標 忘れ物調べを毎回実施する。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ●個に応じた指導 ・定期テスト前に対策プリントの配布や補習を行い、基礎学力の定着を図る。	
指標 定期テスト前プリントを必ず使う。	
取組内容③【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ●ICTを活用した教育の推進 ・全学年の学習活動において、ICT機器を用いて生徒の興味・関心を高め、取り組む意欲向上に繋げる。	
指標 毎時間プロジェクターやタブレット等のICT機器を活用する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【数学科】

年度目標	達成状況
学校の年度目標 基本的な内容の理解深化、計算力の向上を図る。また、数学的思考により物事を分析し、把握する意識を育てる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○授業規律の確立 チャイムでの入室、着席の徹底を図る。 授業準備の状況を確認し徹底するように指導する。	
指標 授業開始時に毎回忘れ物、提出物等のチェックを行い、意識づける。 委員長、教科係りの指導をこまめに行う。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○個に応じた指導 習熟度に応じた補習授業や少人数授業を行って基礎学力の向上を図る。	
指標 2・3年生は毎時間少人数授業を行う。また、定期テスト、小テストに向け放課後補習授業を行う。	
取組内容③【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○ICTを活用した教育の推進 ICT機器を用いて生徒の興味、関心を高め、取り組む意欲向上に繋げる。	
指標 プロジェクターや学習者用端末等のICT機器を昨年度より活用する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

【理科】

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 自分で表現することや理解することにつなげるため、観察・実験を行い、結果を分析して表現できるように取り組み、科学的な思考を定着させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○教材携行の徹底 教科書とノート・ワークシートの忘れ物をなくす取り組みを行う。 ----- 指標 教科書とノートの忘れ物チェックを毎時間行う。	
取組内容②【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○ICTを活用した教育の推進 ICT機器を用いた授業に取り組む。 (カリキュラム改革関連)(マネジメント改革関連)(学校サポート改革関連) ----- 指標 昨年度以上に、ICT 機器・学習者端末の使用の推進を行う。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○言語力・表現力の育成 実験・観察や調べ学習を通して、科学的な思考、表現を身につけられるような授業を行う。 ----- 指標 学期に一回、実験・観察や調べ学習のレポートを発表させる場を設ける。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【音楽科】

年度目標	達成状況
<p>学校の年度目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基本的な能力を伸ばし、音楽文化について理解を深め、豊かな情操を養う。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○学習目標の設定と自己評価の実施</p> <p>毎授業、明確な学習目標を設定し、個々の到達度を自己評価させることを通して、個に応じた学習支援を行う。</p> <p>指標 毎授業、授業開始で明確な学習目標を提示し、授業終了時に自己評価をさせる。毎時間の学習の到達度と次回への学習活動に繋がるような連続性をもたせ、個々への支援に繋げる。100% 目標・自己評価を学習カードにしっかりと記入させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○授業計画の工夫</p> <p>楽曲理解を深める対話的で深い学びに繋がる活動を行い、個々の思考・判断力を育て、考えたことが表現力を高めることに繋がる授業計画を実施する。歌唱・器楽活動では、パートやグループによる練習を通して、互いに学び合うことのできる環境も整える。また、創作活動で1人1台端末を利用し、誰でもが取り組める活動を目指す。</p> <p>指標 毎授業で必ず1回以上の質問の投げかけ、思考力・判断力を培う。小テストや年間2回の定期テストで知識理解の定着を測り、また学期ごとに実技テストを行う。合唱や重奏に取り組み、個々の考えを発表し共有することで、全体の表現力の向上を目指す。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

【美術科】

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 ・制作する楽しみを身につけ、やり遂げる力を養う。 ・意志を的確に表現する能力を高める。 ・自発的に活動できる豊かな人間性を育成する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○授業規律の確立 ・自作品の完成度を高めるため準備物の確立と、授業を集中することは他者も思いやることと自覚させ授業規律を身につけさせる。 ----- 指標 毎時間の授業目標の提示、個別指導を徹底する。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○個に応じた指導 ・「作業日誌」により、自らの反省を点検・確認をし、次作品に活かしていくものを各項目から見つけ以後の意欲を引き出していく。 ----- 指標 記録シートは毎授業後に記入させ、自分で学んだこと・反省を振り返る。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○主体的に授業に取り組む姿勢の育成 ・他生徒の作品や表現の過程を通して共感し、味わいながら自他の価値観を取り入れ感性や情操を養う。また見通しをもって計画的に制作する。 ----- 指標 制作時間の確認の徹底、生徒作品の展示の頻度を高める。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

【技術家庭科】

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通じて、日常で活かせる力を身につける。 実験や実習などの体験型の教材を用いて生活とのかかわりを考えさせる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○授業規律の確立 ・毎回の授業で忘れ物の点検やチャイムで授業を始められるようにし、授業準備の確立を図る。 ・整理整頓、安全衛生を意識させるために、相互点検するシステムを作る。	
指標 忘れ物のチェックや、自己点検カードで作業内容の確認・自己評価・班の評価を毎時間行う。	
取組内容②【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○個に応じた指導 ・進捗チェックシートやファイルで作業進捗や内容を点検し、適切なアドバイスを行う。 ・ICTを活用し、視覚に訴え興味関心を高めたいうで意欲的に取り組めるよう指導を行う。 ・実技、実習で基礎的技術の習得・定着を図る。	
指標 ファイルは学期に2回以上の点検を実施する。実技、実習は学期に5回以上行い、技能向上を図る。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○言語力の育成 ・振り返りシートを使用し、実習の反省や次回への課題と目標を文章で記録させる。 ・班ごとに仮定や結果を話し合い、意見の共有や新しい発見をまとめ、発表する機会を増やす。	
指標 実習終了時の振り返りシートへの記録をさせ、次回の課題と目標をチェックする。意見文課題プリントは、5回以上提出させる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

【保健体育科】

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 規律を守り、技術・体力の向上を図るとともに、豊かな心身の醸成を図る。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○授業規律の確立 毎回の授業で服装チェック、遅刻チェックなど行う。日常の学校生活で必要となる規律を指導する。	
指標 毎時間必ず服装チェック、遅刻チェックを行い100%にする。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○個に応じた指導 各単元で技能を区切り、目標を明らかにし、個々のスキルアップを図る。	
指標 各単元において技能における目標設定を100%実施する。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○言語力の育成 チームプレーをするために必要な声かけや、戦術を話し合うなど言葉を通じて互いの技能を高められるように話し合い、アクティブラーニングの場を多く設ける。	
指標 各単元で必ず1回は生徒間でのミーティングを実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

【英語科】

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の英語4技能の総合的な能力の育成に取り組む。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○個に応じた指導 ・少人数授業を行う。 ・テスト前に放課後学習を行い、個に応じた基礎学力の定着をはかる。 指標 ・2、3年生は全授業を少人数で行う。 ・定期テスト前には1回以上放課後学習を行う。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○自主学習の確立 ・単語テストや単元の確認テストを行う。 ・自主学習教材の提供をする。 指標 ・単元ごとに1回以上単語テスト、新出文法の確認テストを行い、全生徒が各テストの50%得点できるように個別支援に取り組む。 ・定期テスト前には、対策プリントを配布する。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○言語力・表現力の育成 ・1人1台端末を使用して、自由英作文に取り組む。その英作文をもとにパフォーマンステストやインタビューテストを行う。 指標 ・学期に1回以上実技テストを行うことで、4技能の育成に取り組む。またペアワークやグループワークで練習することで協働的な学習を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

【健康教育】

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 ○校内環境美化に努め生徒が安心、安全に学べる環境作りを行う。 ○健康教育を通し生涯にわたって健康で安全な生活を送るための知識を身につけて適切な行動や判断ができるようにする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○健康に関連する情報の発信 「保健だより」や、環境衛生委員会作成の「健康ポスター」で、感染症予防や基本的な生活習慣について注意喚起を行う。 ----- 指標 月一回の「保健だより」発行。環境衛生委員会による「健康ポスター」作成。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○健康教育の実施 全学年において「熱中症予防」「性教育」の実施。1年生で「歯と口の健康教室」、3年生で「折れない心を育てるいのちの授業」の実施。その他必要に応じて健康教育を実施する。 ----- 指標 全学年において、健康教育の取組みをそれぞれのテーマにおいて1回以上行う。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○校内美化の推進 校内の備品や掃除用具を管理、整備し環境美化に努める。 ----- 指標 環境衛生委員を中心に日々の清掃、学期ごとの大清掃を徹底し、環境整備に努める。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

目標3 学びを支える教育環境の充実

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小・中学校) <input type="radio"/> ICTの活用にかんする目標を設定する。 <input type="radio"/> 教職員の働き方改革にかんする目標を設定する。	

年度目標	進捗状況
学校の年度目標 <input type="radio"/> 授業日において学習者用端末を毎日使用する割合を100%にする。 <input type="radio"/> 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教員の時間外勤務の上限(月45時間)の基準を満たす教職員の割合を50%にする。 <input type="radio"/> 「ゆとりの日」を週1回設定・実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立港中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

【ICT教育】

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
学校の年度目標 ○ICT教育を通じてわかりやすく楽しい授業の工夫を図るとともに、情報化社会に適応し活躍できる人材を育てる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○一人一台端末の有効活用 一人一台端末の有効活用によりICT教育の活性化を図る。 ----- 指標 授業における一人一台端末の活用を図る。	
取組内容②【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○ICT機器の有効活用 ICT機器の使用率の向上を図る。 ----- 指標 各教員の授業でのICT機器の使用率100%を目指す	
取組内容③【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ○情報共有・研修 校内ICT研修を行い機器の使い方や有効的な使用方法の情報共有を行う。 ----- 指標 校内研修を年2回以上行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

令和5年4月27日

令和5年度 第1回 大阪市立港中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立港中学校

校長名 北川 延 尚

日時	令和5年4月27日(木)	
場所	港中学校 一多目的室一	
出席者	委員 など	松尾フサ子(委員長)、西澤恵子(委員)、石川忠秀(委員)、安本範之(委員) 尾崎哲生(委員)、森岡清美(委員)、宮本隆司(委員)、平尾俊雅(委員)
	校園	北川延尚(校長)、山本尚子(教頭) 杉尾貴之(首席) 松岡由岐子
	区役所	早川勉課長
議題	1. 運営に関する計画について 2. その他	
協議 要旨	協議の結果	
	1	計画通り、承認をいただいた。 昔のテストの方法とは違ってきたことがわかった。テストに対応できる力をつける授業の方法を作って欲しいなどの意見が出た。
	2	学校の現況について、承認をいただいた。 突出した意見は出なかったが、一定の理解ある内容と受けとめられた。
3		
協議 資料	・運営に関する計画 ・その他	
備考	傍聴者[0]名	